

多様な学術資源の画像データを公開

東海国立大学機構学術デジタルアーカイブ開設



このサイトについて

本ウェブサイトは、東海国立大学機構の保有する学術資源のうち、画像データを公開するプラットフォームです。詳しくはこちらをご覧ください。

活用例について

デジタルアーカイブのトップページ

デジタルアーカイブのトップページが期待される。今後、国立国会図書館が運営するジャパンサーチとの連携も予定しており、同デジタルアーカイブで公開されている同機構の学術資源コンテンツのより広範な流通と発見、活用が期待される。

東海国立大学機構は6月24日、「東海国立大学機構学術デジタルアーカイブ」(<https://daadm.thiers.ac.jp/>)を開設した。同デジタルアーカイブは、岐阜大学と名古屋大学が学術研究のために収集・保有する古文書、写真、図面、

標本などの多様な学術資源の画像データを広く一般に公開し、教育研究活動および地域活動のさらなる充実に資することを目的として、同機構が掲げる「デジタルユニバーシティ構想」基本計画の学術研究領域における取組として構築された。

岐阜大学からは、「人体解剖掛図コレクション」など3つのコレクションが新たに公開されている。名古屋大学からは、附属図書館所蔵資料より、国の重要文化財に指定されている資料を含む「高木家文書デジタルライブラリー」等、4つのコレクションが同デジタルアーカイブに移転、リニューアルして公開されたほか、博物館所蔵資料からも、「吉崎誠海藻コレクション」ほか4コレクションが新規に公開されている。これらのコレクションに含まれる画像データは、国際規格であるIIIFに準拠して公開されているため、同デジタルアーカイブ上で横断的に検索・利用可能となっていることに加え、他のIIIF対応ビューワーによる閲覧等も可能になっており、従来よりも利便性が大幅に向上している。